

研究の概要 (オプトアウト公開用)

西暦 2024 年 12 月 26 日

臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明のうえ同意を取得して実施をします。臨床研究のうち、研究対象者等（患者さん等）への侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究や、余った検体のみを用いるような研究については、国が定めた指針に基づき、研究対象者等のお一人ずつから、必ずしも直接同意を得る必要はありませんが、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております。このような手法を「オプトアウト」と言います。

本研究への協力を希望されない場合あるいはお問い合わせは、下記の担当者までご連絡ください。

| | |
|---------------|---|
| 審査課題名 | 不妊スクリーニング検査の一環として子宮鏡検査を受けた女性で、内膜ポリープを疑い病理検査で子宮内膜癌と子宮内膜異形増殖症と診断された女性の妊孕性温存治療後の生殖医療の妊娠成績についての検討 【後方視的観察研究】 |
| 実施責任者 | 医師部門 水澤 友利 |
| 研究代表者 | 医師部門 水澤 友利 |
| 研究対象者 | 2014 年から 2023 年までに挙児希望を主訴として当院を受診し、不妊症スクリーニングの一環として子宮鏡検査を受け、子宮内膜ポリープ疑いと診断され手術を受けた女性のうち、子宮内膜癌と子宮内膜異形増殖症と診断された症例 |
| 研究期間 | 2024 年 12 月 26 日～2025 年 12 月 31 日 |
| 研究目的・方法 | 目的：晩産化の影響で子宮内膜癌や内膜異形増殖症の割合は増えつつあり、40 歳未満の女性においてもそうである。標準治療は子宮全摘であるが、挙児希望のある生殖適齢期の女性では妊孕性温存治療とそのあとに続く生殖医療の適応と安全性が重要課題であると考え本研究を実施。 方法：診療録を基に情報を抽出し、後方視的に検討する。 |
| 研究に用いられる試料・情報 | 研究対象者の既存の診療データ |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者様を特定できる個人情報は削除いたします。また研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際にも患者様を特定できる情報は含まれま |

| | |
|---------|---|
| | せん。その他当院の個人情報保護方針に則り取り扱いたします。 |
| お問い合わせ先 | 英ウィメンズクリニック 倫理委員会事務局担当 山本健児 電話 : 078-392-8716 |